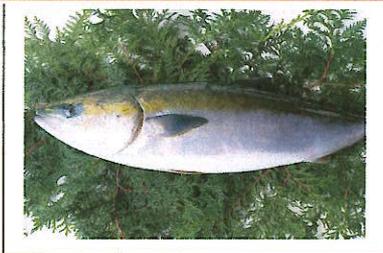


Yamaka Topics ヤマカトピックス 養殖ブリ、浜値、高値推移



昨年度以来、養殖ブリの浜値高値が続いていますが、治まる気配がありません。主要産地の鹿児島県を例にとると中心サイズ、4kgで現在、前年同月で500円高の1500円/kgで推移しています。(グラフは2023年から昨年7月までの推移)。高値にも関わらず、冬場の主力商品であることから消費はそれほど落ちていません。また、輸出向けの加工需要もあり価格を引き上げる要因にもなっています。消費が旺盛なアメリカ、韓国の引き合いは(特に大型原魚)争奪戦の様相を呈しています。

のどぐろ完全養殖に成功



この程、近畿大学水産研究所(富山実験場)がノドグロの完全養殖に成功しました。完全養殖は世界初ということです。今後は3年後に同大の飲食店などで販売を開始、5年後には養殖事業者向けに人工種苗の販売を計画しているそうです。人工ふ化した魚の多くがオスでメスは3%程度ということで継続生産に課題が残ります。ノドグロは深海に生息するため、低温の海水で管理する必要があり、現在は陸上で養殖を想定しているそうです。

入荷状況

3、4月の主の魚

魚種	産地
★毛ガニ	石川
★ホタルイカ	富山、兵庫、山陰
★白エビ	富山
★イダコ	石川
★メバル(ハチメ)	石川、福井
★アマダイ	長崎、福岡、石川

◎地元の毛ガニの入荷があります。ズワイガニ漁が3月20日終了すると値も上がってきます。

◎ホタルイカ、白エビの漁が3月から始まります。解禁当初は割高で推移します。

◎イダコ例年数量が少なくなっています。

◎メバル 刺し網漁のシーズンですが、入荷が本格化するのは4月頃の予想です。

◎アマダイ 九州、山陰、石川からの入荷。量は少なめ。

◎その他 甘エビ は4月に入ってくると、脱皮の時期を迎えます。新エビは殻が柔らかいので、品質には気を使う時期です。

